

お知らせ

講習会・セミナー・見学会

JBN第1回大工技能競技(広島)大会・予告

JBN全国大会5周年を機に、JBN独自の大工技能競技大会をスタートさせることになりました。大工の育成と能力評価、そして処遇、定着につながる新しい仕組みの構築がねらいです。実行委員会を発足させ、具体的な実施要項を本年度内に取りまとめることにしています。日程は、下記のとおりで全国大会に先立って開催し、大会で優秀者の顕彰を行います。
日程:2013年11月13日(水)・14日(木)
会場:グランドプリンスホテル広島
参加選手(JBN工務店推薦):新人大工部門30名、リーダー大工部門30名

「既存住宅の性能向上リフォーム」研修会を開催

国土交通省・平成24年度補助事業「木造住宅等の施工能力向上・継承事業-既存住宅の性能向上リフォーム」により地域工務店ならではの事例にもとづく実務書がこのほど刊行となりました。この成果物をテキストとして、講習会が下記のとおり、全国主要都市で開催されました。
主催:JBN・サポートセンター
開催日(2013年)と開催地:2月18日(月)東京、19日(火)名古屋、20日(水)大阪、21日(木)広島、22日(金)熊本、25日(月)山形にて
いずれも13:00~17:00の4時間をかけて、4部構成のプログラムで行われました。

テキスト:「既存住宅の性能向上リフォーム-耐震・断熱で生まれ変わる家」表紙および構成/A4・69ページ、発行/JBN・サポートセンター、2013年2月刊行



講習の概要

今回の講習内容については、改めて本誌でも紹介する予定です。プログラムの主な内容としては、1.JBNの長期優良住宅改修の取組み、2.性能向上リフォームのすすめ、3.北海道発の性能向上リフォームに学ぶ、4.事例に学ぶ性能向上リフォームの4部構成です。

3.では、北方建築総合研究所(北総研)と新木造住宅技術研究協議会(新住協)による長年にわたる断熱耐震同時改修の技術開発や実績の成果が詳しく紹介されました。講師は北総研・植松武是氏(写真)で「既存改修を安全で、快適に、長く住み続けられるようにするために、どのような改修を提案していけばよいか」を実験や施工データを示しながらの熱のこもった解説でした。

質疑応答では会場から、具体的な実務に基づく質問が多く出されました。



植松武是氏

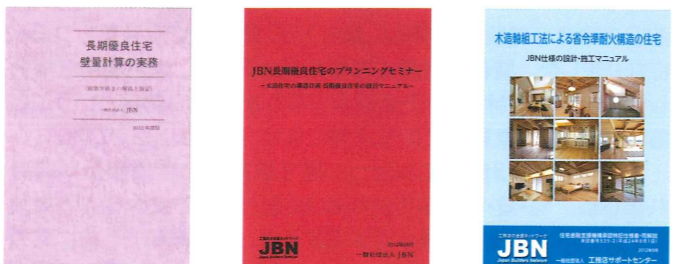
「木造軸組工法による省令準耐火の住宅」リーダー講習会

不定期開催(受講希望者20名程度)
会場:JBN会議室(京橋)
テキスト:「木造軸組工法による省令準耐火の住宅(第2版)」,特記仕様書等
講師:桜設計集団・安井昇氏(DVDによる) 本部担当者
2012年9月、「木造軸組工法による省令準耐火の住宅(第2版)」および「工務店サポートセンター仕様/概要一覧表・特記仕様書・設計施工チェックシート」が改定され、これにともない普及をはかるためにリーダー講習会を本部で開催するものです。 担当 永山・島田

刊行物のご案内

新しい刊行物

- 長期優良住宅壁量計算の実務(耐震等級2の解説と演習)
長期優良住宅壁量計算の実務研修会用テキスト
刊行2012年11月、A4・75ページ
●木造住宅の構造計画 長期優良住宅の設計マニュアル
長期優良住宅のプランニングセミナー用テキスト
刊行2012年11月、A4・130ページ
●JBN長期優良住宅(申請マニュアル)
長期優良住宅のプランニングセミナー用テキスト
刊行2012年11月、A4・162ページ
●木造軸組工法による省令準耐火の住宅(第2版)
旧版に新たな実験結果に基づき室内真壁造における梁・柱の4面頭し関する機構承認仕様を追加しました。あわせて、住宅金融支援機構監修「木造住宅工事仕様書・19-省令準耐火構造の住宅の仕様」に則った構成に改めました。
刊行2012年9月、A4・118ページ



工務店サポートセンター仕様/概要一覧表・特記仕様書・設計施工チェックシートも改定しました。

- 住宅改修の工事記録写真・撮影・保管の実務-
先に刊行した「バリアフリーから始める住まいの快適リフォーム」の副産物ともいえるものです。改修工事の経過を証明する写真の添付が求められたのですが、不適切なものが多く、工事が終わった段階では振り直しが出来なかったという苦い経験から本書が作成されました。改修工事を対象に記録写真の撮り方のイロハから、写真の整理・保管までを判りやすく説明した実務書です。
工務店サポートセンター発行、刊行2012年3月、A4・32ページ
●バリアフリー改修から始める住まい快適リフォーム 指針・事例集
工務店サポートセンター、増改築委員会編、A4版・102ページ
●地域工務店のための「耐火性能の高い木造住宅の設計・施工指針」~木造らさを生かした耐火性能の高い家づくり~
工務店サポートセンター編 A4版・90ページ
●長期ききゆう住宅国産材モデル型式認定(手刻み型)工法利用マニュアル・構造の安定
工務店サポートセンター編 A4版・212ページ
●同上「手刻みの基本(構造編)」
工務店サポートセンター編 A4版・24ページ

JBN 会員登録募集
全国の工務店の力を結集するための組織がJBNです。「地域から必要とされ、信頼される工務店」のためにサポートセンターがさまざまな面から支援します。

発行/お問い合わせ

一般社団法人 JBNサポートセンター
〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-4-10 京橋北見ビル東館6階
TEL.03-5540-6678 FAX.03-5540-6679
E-mail:jbn@jbn-support.jp homepage: http://www.jbn-support.jp
発行人:藤澤好一 ©工務店サポートセンター 禁無断転載



FSC® 森林認証紙と植物油インキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用しました。

暮節記(ぼやき)

老いのためか、酔いのせい、地下鉄の下りエスカレーターで転んだ。踏み板の角に膝をぶつけ1cmほどの切り傷ですんだのは幸いというべきだろう。頭が上の方を向いていたからだ、なぜそんな転び方をしたのか。行き先の間違いに気づき、慌てて戻ろうとしたからだ。周囲の目が冷ややかだったのは、まともな年寄の行為には見られなかったからだろう。ズボンの膝にも切り裂きが出来た。買ったばかりだったので修理が出来ないか、以前見かけた記憶をたよりに訪ねた店は空き店舗になっていた。次に訪ねた店では引き受けてくれたが、今月で店を閉じるのだという。看板には立って直し、リフォームとなっていたが、衣服の世界ではもはや成り立たないビジネスのようだ。その一方で、リサイクルショップなどの中古市場は活発だ。住宅との違いはどこか、消耗品化が進んだことに加え、商品と価格の多様化も一因ではないか。なにしろ傷も破れもファッションにする世界だ。(F)

JBN サポートセンター・レポート

Japan Builders Network

JBN会員数 会員登録更新期間のためしばらく掲載を中断します。

「いえもり・かるて」登録累計数/4,443件

(2013年1月末日現在)

2013.March No.44

3月号

発行人:藤澤好一 ©工務店サポートセンター 禁無断転載

- 「製材組み立て梁」の可能性
●活動報告 役員会・青木会長の動き、委員会・WG報告(2月)
●地域工務店のソコデカラ、リーダ大工研修(第2回)、長野県・愛媛県と災害協定締結
●お知らせ 講習会開催日程・主な刊行物

今年度の開発成果報告 「製材組み立て梁」の可能性

中大規模の木造建築に熱い注目

「公共建築物等木材利用促進法」が施行され、公共建築に限らず、従来は鉄筋コンクリートや鉄骨でつくられていた集合住宅、郊外店舗なども木造で建築される例が増えています。事業用施設を木造でつくると、法定償却期間が22年(RCは47年)と短く、RCと比べ2倍の減価償却費を計上でき、キャッシュフローが有利になります。時代の変化に合わせた用途変更、増改築が容易であることから結果的には長寿命です。最終的に役割を終えた場合も木材はチップとして利用できるなど、環境面、経済面でもメリットがあります。

昨年5月に実施したJBN会員のアンケート調査でも、回答者の87%の会員が「関心あり」と答えています。ところが、いざ取り組むとなるといくつかの課題が見えてきました。複雑な計算や実験を案件ごとに行わなくてはならないこと、そのためメーカー主導のクローズド工法によらないと取り組めないこと、中大規模木造でよく利用される大断面集成材は生産工場に限られ、地域の木材利用につながらないこと、など受注機会につながらないという状況でした。JBNではこれらを解決するため、大型木造研究委員会を設置し、「梁部材、床部材」の研究開発に着手しました。地元で流通している製材品を利用したオープンな工法で、地域の工務店が取り扱いきやすい、しかも地域の林業、製材業の活性化につながることをねらいとしました。

林野庁補助事業に採択され、実施例も

JBNのこの提案は林野庁の「木造中高層建築物等の部材開発等支援事業」に採択され、東京大学生産技術研究所の木質構造デザイン工学の腰原教授の指導・協力を得て、断面設計、綿密な計算、さらには実験を経て、製品化、市場化の目途がついてきたところです。今回開発されたのは①トラス梁(A-ハイブリッド型/E70のスギ150×120を上弦材、下弦材、引張り材に丸鋼[SS400]16φを使用、B-木製トラス)、②合せ梁(実験は行わず既存データによる)、③SSP(ストレススキンパネル/梁材と合板を接着したパネルで、一



ジャパンホーム展示のハイブリッドトラス実大モデル



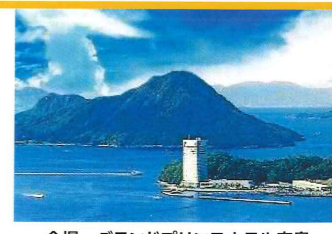
実大モデルの強度試験



学校の模型

2013 JBN全国大会 設立5周年記念広島大会

本年11月13日(水)~11月15日(金)の3日間
11月13日(水) 大工技能者育成・定着のために技能競技大会
11月14日(木) 午後・5周年記念全国大会 夜・交流会
11月15日(金) 午前・基調講演・シンポジウム 午後分科会
11月16日(土) 終日・エキスカージョン



会場 グランドプリンスホテル広島

地域を活かし、地域を支える工務店の全国組織・JBNは、一般社団法人全国木造建設事業協会(全木協)の活動を支えるとともに新たに発足した全国木造住宅生産体制協議会ならびに都道府県木造住宅生産体制協議会などの関連機関との連絡、調整をはかりながら復興支援と地域活性化に努めてまいります。

活動報告

前月号以降の活動

○第1302回 役員会 2月12日(火) 15:00~17:00

役員3名、常任理事4名、事務局2名 開催場所:JBN役員室

【あいさつ】

・青木会長

決算期変更のため3月が期末で、4月以降が平常新年度となる。国交省のゼロエミッション住宅や林野庁の木材のエコポイント、環境省の環境コンシェルジュと政策テーマが目白押しだ。来る2月20日には各省庁の担当官から、24年度補正予算や25年度以降の事業計画の説明をうけることになっている。また、国交省住宅生産課からは長期優良リフォームの認定、評価基準についてヒアリングを受け、提言が求められている。JBNへの注目、関心度は高まっており、期待に応え社会的責任をしっかりと果たしていきたい。

・藤澤センター長

業界の大切な人的資源「大工」の確保、育成が大きな課題だ。大工の不足という雇う側の問題もあるのだが、大工の立場に立つと、不安定な雇用、低い処遇、そして年金など社会保障など、将来への不安が根っこにある。国交省も心配をしており、大工育成ワーキンググループとして実態と課題などの調査を実施し、それを踏まえて、業界として方向性を打ち出していきたい。前向きの方針を出すべく作業をすすめていこうと考えている。

【主な報告】

- 1) センターレポート(No.43) 関連、JBN委員会報告等
- 2) 会員実数、住宅履歴登録数
- 3) 1月末の財務諸表について
- 4) 全木協協定締結状況
1月24日に長野県、2月6日に愛媛県と協定締結。香川、静岡、東京、大分について準備作業中。
- 5) うちエコ診断平成25年度事務局
環境省補助事業、24年度はエコワークスに委嘱していたが25年度はJBN事務局が担当する。
- 6) JBN全国大会の会場と参加費
30名規模の実行委員会を組織し、600名以上の参加を見込む。協力会員のPR展示、紹介の場も設けたい。大会参加費10,000円、懇親会費8,000円。省令準耐火・防耐火講習会については、住宅あんしん保証の講師派遣などの協力を得て展開。
瑕疵保険講習会については、JBN技術管理課の島田職員が講師として全国主要都市で実施の予定。
- 7) 就業規則・関連規定(案)について
就業規則の整備に取り組んできたが、大野常任理事、事務局従業員代表の意見を踏まえ、4月1日施行を目的に最終調整。
- 8) 情報セキュリティ診断報告
情報セキュリティマネジメントシステムの導入検討のため、専門家による現況診断実施、その報告を受けた。

【主な議事】

- 1) 社員加盟申請の件
申請のあった社員会員1社を承認した。
- 2) JBN連携団体会員の対応及び瑕疵担保保険会員の取扱の件
一部の連携団体会員から、正会員登録は行わず、瑕疵担保保険の適用が受けられる便宜的な会員資格の運用、創設について要望があったが、制度の複雑化を招く懸念があり、例外を認めないことに決した。
- 3) JBN都道府県の組織化進捗状況について
地域の状況をふまえつつ、組織の新設、統合を促進する方針を確認した。
- 4) 宮城県女川町木造公営(復興)住宅プロジェクトについて
女川町からURへ発注され、URがコンストラクションマネジメント(CM)方式で実施されるプロジェクトで、ブロック担当常任理事を中心に検討することにした。
- 5) その他
会長より、資料に基づき、事務局が取り組むべき作業課題と意義、その分担、常任理事及び理事の管掌について確認した。

次回 2013年3月12日(火) 役員会12:00~14:00

同 理事会15:00~17:00 JBN会議室

青木会長の動き

2013年1月19日~2013年2月19日

2013年1月

- ・19日(土) マルダイ新年会講演
- ・21日(月) 国交省住宅生産課伊藤課長打ち合わせ、同木造住宅室打ち合わせ
- ・22日(火) 会計事務所打ち合わせ、広島大会打ち合わせ
日本合板検査会河野理事長来所
長野県災害協定、長野県阿部知事一全木協
林野庁木材産業課測上課長打ち合わせ 局長 部長同行、能率協会来所
- ・24日(木) 香川県会長来所、伊藤生産課長他3名とJBNメンバー5名
- ・29日(火) 長期優良住宅リフォームに関するヒアリング、意見交換

2013年2月

- ・5日(火)~7日(木) 愛媛県災害協定 中村知事一全木協
- ・7日(木) 木活協強化部WGテーマ1工務店対策 主査
- ・8日(金) 木活協強化部WGテーマ2技能者育成委員
- ・12日(火) JBN大工育成会議(副会長、センター長、大野常任理事、西村常任理事、部長)
- ・13日(水) 青森県会長 副会長2名 事務局長来所
- ・14日(木) 「温熱環境と健康」セミナー。司会の坂本建研理事長から

JBNとして発言を求められる。
・19日(火) 東京建築カレッジ来所打ち合わせ、木住室打ち合わせ
・20日(水) マーケット委員会、次世代の会

委員会・WG報告

●活動報告 ○活動予定

次世代の会

●第1210回 2月20日(水) 13:00~17:00 参加者:82名

会場:住宅あんしん保証会議室
第1部:JBN次世代の会 次年度活動計画及び次世代ディスカッション
平成25年度のJBN次世代の会の活動計画内容について
各社の現況報告、入金管理、後継者問題等について
第2部:環境省・林野庁・国土交通省の補正予算及び次年度の事業計画等について

講師:各省庁担当者

- ①各省庁の補正予算の内容等について
 - ②平成25年度の事業計画・予算などについて
- ※第2部よりJBN社員・JBN委員会委員参加対象
セミナーとして実施

○第1211回 3月19日(火) 13:30~17:00

- ①(一社)日本林業経営者協会との意見交換
- ②次年度活動計画について



大型木造研究委員会

●正副委員長会議 1月18日(金) 10:00~12:00

東京大学生産技術研究所腰原研究室 参加者:7名

- ・今年度成果とりまとめについて
- ・参加者ディスカッション

●正副委員長会議 2月19日(火) 17:00~19:00

東京大学生産技術研究所腰原研究室 参加者:10名

- ・本年度の成果/課題のまとめ
- ・本年度成果報告書の最終確認
- ・参加者ディスカッション

●正副委員長WG 2月19日(火) 16:00~

東京大学生産技術研究所腰原研究室 参加者:4名

□今年度の開催日程(予定)3月

既存改修委員会

●1213回 2月1日(金) 15:00~17:00 JBN会議室

参加者:13名

- 1.リフォーム瑕疵保険の現状と問題点について(住宅あんしん保証)
- 2.前回報告 補助事業 リフォーム講習会の報告
- 3.リフォーム取組みアンケートとヒアリングについて

○1214回 3月8日(金) 15:00~17:00 JBN会議室

- 1.講習会反省
- 2.来年度の活動に向けてのアンケート・ヒアリング総括

□次年度の開催日程(予定)4月8日

国産材委員会

○国産材委員会主宰セミナー第4弾

「作り手のためのインテリアセミナー 住宅×家具」

日時:2月26日(火) 13:00~17:00 受付:12:45~

会場:コクヨホール(JR:京急品川駅 港南口より徒歩5分)

内容:[作り手のためのインテリアセミナー 住宅×家具]

講師:家具デザイナー 小泉誠氏・他 参加費:無料(JBN会員)

共催:株式会社 新建新聞社

環境委員会

●第1207回 1月30日(水) 13:00~18:00

金子建築工業現場等見学会 参加者:19名

- 1.協同組合東濃地域木材流通センター(通称 木Key Point)見学
- 2.現場見学(4棟)
- 3.土塗壁モデルハウス(実験棟)、ZETHモデルハウス見学

土壁、壁面蓄熱を利用した省エネ住宅や、環境負荷の小さい自然素材(木・土・藁・竹)を最大限使用したモデルハウスを見学し、温熱環境について体感することが出来た。

○第1208回 3月27日(水) 14:00~18:00

東京八重洲ホール 予定

- 1.平成25年度の住宅省エネ施策について情報交換
- 2.平成24年度第二回住宅・建築物省CO₂先導事業採択企業発表
"桜源郷"羽黒駅前プロジェクト(にのみや工務店)
- 3.断熱改修リフォーム先進事例発表(発表者選定中)
- 4.平成25年度の家計エコ診断事業(環境省所管)について
- 5.その他

マーケット委員会

●マーケット委員会 2月20日(水)10:00~12:00 会場:JBN会議室

- ①現在の委員会の取組状況および課題等について
- 平成25年度の活動計画等について

○次回:3月19日(火) 10:00~12:00 JBN会議室

地域工務店のソコゾカラ 第3回

個の力から集のチカラで

JBN徳島 会長

山田文夫

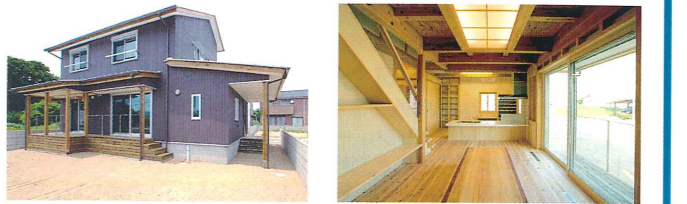
「徳島の家」

弊社は、私が2代目で今年35期目の小さな工務店です。会長(父)が元々大工だったこともあり、今も手刻みにこだわり、すべての家をプレカットではなく手刻みで加工しています。大工も自社の常用大工として、60代1名、50代4名、30代2名、20代3名の10名を雇用しています。一時は大工を請負制度で現場ごとに発注していましたが、大工の意識がお客様よりお金の損得に向かっていっているような気がしたので、今はすべて日当制にしました。会社にとっては負担になることもしばしばですが、これもお客様の立場に立った家づくりと考え、これからも理念を曲げずに進んで参ります。

家づくりでは、徳島県認証木材の杉や桧を使用し、現在は屋内真壁造の家がほとんどです。3年前の地域住宅モデル普及

促進事業でモデルハウスを持つことができ、県内の工務店7社7棟で共同出展しています。このモデルハウスのおかげで、価値観の合うお客様と多く出会えるようになりましたので、弊社にとっては大きな転機となりました。

また、徳島県内の工務店や建築士とのネットワークづくりで、協同組合徳島県木造住宅協会や家づくりの会「徳島」を、発起人の一人として立ち上げることができました。小異を捨てて大同につくということわざがありますが、特に地方は個の力から集の力で切り開いていくことも大事だと考えています。



K邸外観

県認証材による真壁造

(2013年1月号より、JBN地域会長によるソコゾカラを連載しています)

リーダー大工研修(第2回)を開催

2月13日(水)から16日(土)まで、3日半の短期集中型研修が開催されました。1月の研修に続くもので、研修生からの要望で、前日夜集合を前日午後開始に繰り上げ、講義と交流会をもつことになりました。講習の効果と効率を高めるため、宿泊場所を集合しやすい上越新幹線・燕三条駅前に移しました。2回目ということもあり、質問や意見の交換も活発になり、成果は上々でした。

今回は、ほぼ3日間にわたって現寸展開図の作成実習が行われました。勾・受・玄によるいわゆる「延び矩」を求める方法を段階的に解説し、実習を通じて体得することがねらいでした。黒板書きと図面類のスライド投影による解説、個々の作業の様子を見守りながらの個別指導に理解は深まったものと思われます。

研修中、この2月21日(木)~23日(土)に開催される第27回技能グランプリの課題の完成モデルが紹介されました。その完成モデルの複雑さ、精緻な仕上がりを目の当たりにして研修生から感嘆の声が漏れました。製作したのは、技能五輪大会・金賞(2001年)、技能グランプリ・金賞(2009年)に輝いた小倉寿浩さん。近藤先生の会社(近藤工務店)の社員大工で、高校卒業と

同時に入社、西蒲原高等職業訓練校でも近藤先生から指導を受け、現在は訓練校で実技指導も担当しています。

最終日には、修了証としてJBNインスペクター登録証(リーダー大工研修)をセンター長から授与。今回の研修成果を若い人の指導を通じて深めほしい、JBN全国大会と合わせて開催される技能競技大会への参加と再会を要請して、研修を終えました。



現寸展開図の作成実習

技能グランプリの課題完成
製作物と小倉寿浩さん

長野県・愛媛県と災害協定締結

・1月24日(木)長野県と。県庁内で行われた「災害時における応急仮設木造住宅の建設に関する協定」の締結式には、全国木造建設事業協会(全木協)の青木理事長(JBN会長)、澤田専務理事(全建総連住宅対策部長)、大野建設部会会長(JBN常任理事)、長野県建設労連の林委員長、宮島書記長、宮川書記次長、信州木造住宅協会の小林理事長、小林理事、佐野事務局長が出席。締結にあたり阿部知事は「災害時に県民の命と財産を守ることは県の使命であるので、今回の協定は心強い。」と全木協への期待の言葉がありました。その後、阿部知事と青木理事長が相互に協定書に署名し正式に協定が締結されました。



長野県阿部知事と全木協青木理事長

・2月6日(水)愛媛県と。県庁内で行われた協定締結式には、全木協の青木理事長(JBN会長)、愛媛県建設労働組合の高岡委員長、(一社)愛媛県中小建築業協会の白石会長等が出席しました。締結にあたり、中村知事は「東日本大震災では、5万戸超えの仮設住宅が建設されたが、資材調達等で苦慮し、人手不足の問題もあった。協定は大変心強い」と全木協への期待の言葉がありました。

今回の協定締結により全木協と都道府県が結んだ災害協定は8県になりました。



左より 愛媛県木材協会 井関会長、愛媛県森林組合連合会 高山代表理事会長、中村愛媛県知事、JBN青木会長、愛媛県浄化槽協会 寺井会長